



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社Kaizen Platform 上場取引所 東
コード番号 4170 URL <https://kaizenplatform.com/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 須藤 憲司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 朝井 秀尚 TEL 03-5909-1151
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,188	56.4	△74	—	△69	—	△87	—
2022年12月期第3四半期	2,038	29.9	△14	—	△33	—	△64	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 55百万円 (△70.1%) 2022年12月期第3四半期 185百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△5.22	—
2022年12月期第3四半期	△3.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,641	3,179	67.8
2022年12月期	5,236	3,280	60.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 3,144百万円 2022年12月期 3,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	57.4	200	26.5	△60	—	△60	—	△85	—	△5.05

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	16,864,679株	2022年12月期	16,700,429株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	110株	2022年12月期	44株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	16,819,692株	2022年12月期3Q	16,556,927株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が期待されているものの、物価の上昇や金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があります。

当社グループの事業は必ずしも対面によることが必要とされるものではなく、オンラインによる非対面でのコミュニケーションによってもクライアントへのサービスの提供が成立することから、新型コロナウイルス感染症対策に基づく行動制限やその解消に伴う事業への直接的な影響は限定的でありました。また、行動制限が解消される中で当社グループシナジーの追求や商品ラインナップの強化、クライアントポートフォリオの見直し、提供ソリューションの拡充とともに、2022年10月に子会社化した㈱ハイウェルのSES事業（システムエンジニアリングサービス）の売上が寄与し当社グループ全体の連結売上高は成長基調を維持しております。

国内コンサルティングサービス市場は、2025年には1兆2,551億円に達すると予測され（注1）、インターネット広告の市場規模は3兆912億円となり、「新聞広告費」「雑誌広告費」「ラジオ広告費」「テレビメディア広告費」を合計した「マスコミ四媒体広告費」の2兆3,985億円をインターネット広告費が上回り（注2）、5G携帯端末の契約台数は7,476万台に達し（注3）、5G化に伴って動画広告は2025年には1兆円規模に達すると見込まれております（注4）。マーケティング領域でのデジタル化はさらに進んでいくと想定される中、当社グループの事業機会はさらに拡大していくものと考えています。

また、日本国内のDX市場は2030年には6兆5,195億円の規模にまで成長すると予測されており（注5）、DXの市場拡大は当社グループのさらなる展開につながっていくものと考えております。

このような経営環境の中、当社グループはグロスセグメント及びトランスフォーメーションセグメントの既存顧客の契約継続及び新規顧客の獲得に注力するとともに、新サービスの投入、プロダクトの開発・改善、顧客数増加に向けたマーケティングなどの先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,188,542千円（前年同期比56.4%増）、営業損失74,385千円（前年同期は営業損失14,573千円）、経常損失69,849千円（前年同期は経常損失33,295千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失87,764千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失64,701千円）となりました。

出典（注1）International Data Corporation(IDC)「国内ビジネスコンサルティング市場予測、2021年～2025年」

（注2）電通「2022年 日本の広告費」

（注3）総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（令和5年度第1四半期（6月末）」

（注4）㈱サイバーエージェント、㈱デジタルインファクト「2022年 国内動画広告の市場調査」

（注5）富士キメラ総研「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

①グロスセグメント

グロスセグメントは、新たな生活様式及び勤務形態の浸透によりリモートワークの導入など企業のデジタル活用が進む中、これまでのWebサイト改善や動画制作だけではなく、子会社である㈱ディーゼロによるWebサイト制作やCRMの改善など顧客の課題に合わせたトータル提案に注力した結果、大手顧客を中心に受注を獲得いたしました。動画制作を中心とした集客領域においてクライアントポートフォリオの見直し等戦略転換に想定以上の時間を要し、業績に影響を及ぼす結果となりました。

この結果、売上高は1,741,626千円（前年同期比5.4%減）、セグメント損失は121,340千円（前年同期はセグメント損失111,247千円）となりました。

②トランスフォーメーションセグメント

トランスフォーメーションセグメントは、DXに関するコンサルティングやワークショップ及び2022年10月に子会社化した㈱ハイウェルの行う事業により売上が構成されております。なお、㈱ハイウェルが第1四半期連結会計期間より業績が連結されたことにより、売上高は大幅に伸長しております。

この結果、売上高は1,446,915千円（前年同期比630.2%増）、セグメント利益は46,955千円（前年同期比51.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,641,578千円(前連結会計年度末比594,933千円減)となりました。これは主に、現金及び預金が617,208千円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,461,726千円(前連結会計年度末比494,027千円減)となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が387,084千円、長期借入金が49,689千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,179,851千円(前連結会計年度末比100,906千円減)となりました。これは主に、資本剰余金が91,862千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、本日(2023年11月13日)に公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,337,836	2,720,628
受取手形及び売掛金	598,339	701,620
その他	100,082	154,504
貸倒引当金	-	△1,418
流動資産合計	4,036,258	3,575,334
固定資産		
有形固定資産	22,472	19,865
無形固定資産		
ソフトウェア	270,829	223,036
ソフトウェア仮勘定	43,519	34,640
のれん	677,380	623,948
その他	188	129
無形固定資産合計	991,918	881,754
投資その他の資産		
投資有価証券	61,757	52,782
関係会社株式	23,976	-
繰延税金資産	42,561	49,068
その他	57,566	62,773
投資その他の資産合計	185,861	164,623
固定資産合計	1,200,253	1,066,243
資産合計	5,236,512	4,641,578
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,978	338,973
短期借入金	283,960	260,108
1年内返済予定の長期借入金	467,492	80,408
未払法人税等	62,714	13,723
その他	190,305	231,898
流動負債合計	1,369,450	925,112
固定負債		
長期借入金	586,303	536,614
固定負債合計	586,303	536,614
負債合計	1,955,753	1,461,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755,623	1,766,960
資本剰余金	3,774,733	3,682,870
利益剰余金	△2,511,082	△2,598,847
自己株式	△25	△48
株主資本合計	3,019,248	2,850,934
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	162,962	294,008
その他の包括利益累計額合計	162,962	294,008
新株予約権	390	-
非支配株主持分	98,156	34,908
純資産合計	3,280,758	3,179,851
負債純資産合計	5,236,512	4,641,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,038,376	3,188,542
売上原価	1,273,011	2,241,770
売上総利益	765,365	946,771
販売費及び一般管理費	779,938	1,021,156
営業損失(△)	△14,573	△74,385
営業外収益		
受取利息	115	21,460
為替差益	3,392	3,183
助成金収入	2,930	50
その他	1,682	7,413
営業外収益合計	8,120	32,107
営業外費用		
支払利息	6,884	10,937
持分法による投資損失	5,049	—
投資事業組合運用損	3,878	7,525
支払手数料	9,482	6,809
その他	1,546	2,298
営業外費用合計	26,842	27,572
経常損失(△)	△33,295	△69,849
特別利益		
新株予約権戻入益	—	390
特別利益合計	—	390
特別損失		
固定資産除却損	340	—
特別損失合計	340	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,635	△69,458
法人税、住民税及び事業税	25,656	12,411
法人税等調整額	△6,397	△6,506
法人税等合計	19,258	5,904
四半期純損失(△)	△52,894	△75,363
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,806	12,401
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△64,701	△87,764

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△52,894	△75,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	-
為替換算調整勘定	238,676	131,046
その他の包括利益合計	238,885	131,046
四半期包括利益	185,991	55,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,184	43,281
非支配株主に係る四半期包括利益	11,806	12,401

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	グロース	トランスフォー メーション	計		
売上高					
一時点で移転される財	551,359	35,200	586,559	—	586,559
一定の期間にわたり移転され る財	1,288,868	162,948	1,451,816	—	1,451,816
顧客との契約から生じる収益	1,840,228	198,148	2,038,376	—	2,038,376
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,840,228	198,148	2,038,376	—	2,038,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,840,228	198,148	2,038,376	—	2,038,376
セグメント利益又は損失(△)	△111,247	96,673	△14,573	—	△14,573

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	グロース	トランスフォー メーション	計		
売上高					
一時点で移転される財	497,677	30,681	528,359	—	528,359
一定の期間にわたり移転される財	1,243,948	1,416,233	2,660,182	—	2,660,182
顧客との契約から生じる収益	1,741,626	1,446,915	3,188,542	—	3,188,542
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,741,626	1,446,915	3,188,542	—	3,188,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,399	679	2,078	△2,078	—
計	1,743,026	1,447,594	3,190,620	△2,078	3,188,542
セグメント利益又は損失(△)	△121,340	46,955	△74,385	—	△74,385

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

2022年10月に、㈱ハイウェルを新たに取得・子会社化し、業績管理区分の見直しにより、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。

従来「UX/DXソリューション」のうちWebサイト制作・改善、CRM改善及び「動画ソリューション」を「グロースセグメント」に変更し、「UX/DXソリューション」のうちDXに関するコンサルティングやワークショップ及び㈱ハイウェルの事業を「トランスフォーメーションセグメント」とし、新たに集計しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分にもとづき作成したものを開示しております。